

家庭訪問事業・健康診査について

乳児全戸訪問事業(産婦・新生児訪問指導)

問い合わせ先 保健福祉課 TEL 33-2003

赤ちゃんが生まれた全ての家庭に助産師、保健師が訪問し、赤ちゃんの発育やお母さんの体調管理、授乳方法、育児などの相談に応じます。おおむね4か月までの赤ちゃんがいる家庭が対象です。

赤ちゃんが生まれたら「母子健康手帳別冊」に入っている「出生連絡票」(はがき)に必要な事項を記入の上、切手を貼り投函するか、保健福祉課または町民税務課に提出してください。



新生児聴覚検査助成事業

問い合わせ先 保健福祉課 TEL 33-2003

新生児聴覚検査は先天性の難聴を早期発見・早期養育するための重要な検査です。

すべての赤ちゃんが聴覚検査を受けることができるように、初回検査料に対して上限5,000円を助成します。県内の医療機関等で検査を受ける場合は、新生児聴覚検査受診票(助成券)の提出のみで助成が受けられます。

県外の医療機関等で検査を受けた場合には、検査費用を一旦お支払いいただき、検査後2か月以内に保健福祉課へ申請してください。



赤ちゃんの健康診査(2か月児健診・8～9か月児健診)

問い合わせ先 保健福祉課 TEL 33-2003

赤ちゃんは毎日発育をしていきます。健康に育てるためには健康診査を受けることが大切です。

◆実施時期

生後2か月、8～9か月の各時期

※対象の時期を過ぎてしまうと助成の対象にはなりませんので、受け忘れのないようご注意ください。

◆実施場所・時間

母子健康手帳別冊の「赤ちゃんの健康診査について」のページに、実施担当医療機関が記載されていますので、指定された日時に受診してください。

◆料 金

無料

母子健康手帳別冊の健康診査票に必要事項を記入し、医療機関の窓口に提出してください。

赤ちゃんの泣きへの 理解と対処のために

赤ちゃんは成長とともに、少しずつ大きな声で泣くようになります。泣いている時間が多くても大丈夫。



赤ちゃんの泣きの理由

- おなかがすいた
- ねむい
- おしっこがでた
- さむい、あつい
- うんちがしたい
- さみしい

赤ちゃんの泣きの特徴

- 理由がなくても泣くことがある。
- 抱っこをしている人の気持ちや体調を敏感に感じ取って泣くことがある。

※泣き声にイライラすることは特別なことではありません。
イライラで辛いときは、赤ちゃんを安全なところに寝かせて、
まずは自分をリラックスさせましょう。

乳幼児健康診査等スケジュール

問い合わせ先 保健福祉課 TEL 33-2003

お子さんの健やかな成長を願って、乳幼児健康診査を実施しています。

対象・実施日は「母と子の健康を守る行事」実施予定表か、毎月発行の「広報ざおう」で確認してください。

健 診 名	対 象 児	内 容	持参するもの
3～5か月児 健康診査	生後3～6か月未満	身体計測、内科健診、 育児相談、離乳食指導、 個別相談	問診票、母子健康手帳、 バスタオル、おんぶひも
1歳お誕生相談	1歳 ～1歳6か月未満	RDテスト、 栄養講話・相談、 はみがき指導	問診票、母子健康手帳
1歳6か月児 健康診査	1歳6か月 ～満2歳未満	身体計測、 内科・歯科健診、 栄養指導、 はみがき指導、 個別相談	問診票、母子健康手帳、 バスタオル、 歯ブラシ・コップ
2歳6か月児 健康診査	2歳6か月 ～満3歳6か月未満	身体計測、歯科健診、 栄養指導、 はみがき指導、 個別相談 フッ化物塗布（希望者のみ）	問診票、母子健康手帳、 バスタオル、 歯ブラシ・コップ フッ化物塗布同意書
3歳6か月児 健康診査	3歳6か月 ～満4歳未満	身体計測、 内科・歯科健診、 栄養指導、 はみがき指導、 視覚検査、 聞こえの検査、 尿検査、個別相談	問診票、母子健康手帳、 バスタオル、 歯ブラシ・コップ



ブックスタート事業

問い合わせ先 蔵王町社会福祉協議会 TEL 33-2940

ブックスタートとは、赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、楽しくあたたかい時間を過ごすきっかけになるよう絵本をプレゼントするものです。

蔵王町では、平成30年から、蔵王町社会福祉協議会の子育て支援事業として、「3～5か月児健診」「1歳お誕生相談」に合わせて実施しています。

◆プレゼント内容

(※令和7年4月現在。プレゼント内容は変更することがあります。)

前期対象(3～5か月児健診)

絵本2冊(18冊の絵本の中からお選びいただけます。)

コットンバック(絵本を入れるバッグ)

アドバイスブック「赤ちゃんといっしょに はじめまして絵本」

後期対象(1歳お誕生相談)

絵本2冊(18冊の絵本の中からお選びいただけます。)



絵本の読み聞かせ Q & A

Q いつから絵本を読んであげればいいの？

A ひとりひとり違いがあるので、いつ、というのは決まっていますが、「10か月くらいから」と勧めている絵本の出版社があります。蔵王町では、社会福祉協議会より3～5か月児健診・1歳お誕生相談時に、ブックスタートで絵本をお渡ししています。そのタイミングで読み聞かせを始めてみても良いでしょう。

Q どんな絵本を読んであげたらいいの？

A 身の回りのものを描いた絵本や、子どもの好きなものが出てくる絵本が良いでしょう。20年30年と読み継がれてきたものは特におすすめです。お母さん・お父さん自身がお気に入りの絵本を見つけ、お子さんにぜひ読んであげてください。

Q 忙しくて読んであげる時間がありません。

A 忙しい時や気分が向かない時は、無理に読まなくても構いません。絵本を読む時間は、親子のコミュニケーションをとれる大切な時間です。1冊の絵本は5分くらいですので、おやすみの前などゆったりできる時に試してみてください。